



明日の青梅のために！！

青梅市議会議員

島崎 実

No14 活動報告

島崎 実 事務所
〒198-0063
青梅市梅郷6-1511
TEL 0428-76-0358
E-Mail info@minoru-kai.com

◎ (7月18・19日) 市内小・中学校、児童・生徒の学力向上を目的として、福井県および福井市を視察しました。県および市教育委員会から同県・市の学力向上への取組について、数々の示唆に富む説明を受けました。

福井県議会場



福井市議会場



福井市教育委員会との勉強会



◎ (7月21日) 市立総合病院建て替えについての基本設計説明会が開催され、57名の方が参加されました。

「新病院の概要」

○西多摩2次医療圏の高度急性期医療を担う拠点病院

- (1) 規模 地下2階、地上8階、塔屋階2階建
- (2) 病床数 501床 (現在562床)
- (3) 手術室 10室 (全ての手術室面積が現在の倍以上)
- (4) 事業費 約275億円、内借入金約253億円の予定
- (5) 工程表 2019年秋着工、23年新南棟建設、26年完成



◎ (8月9日) 「梅郷1丁目運動広場新設工事に伴う事前説明会」が梅郷1・2丁目自治会館で開催されました。

○従前の梅郷1・2丁目運動広場が売却されたため、以前F氏から市に寄贈された土地を運動広場として整備するもの。

- (1) 整備面積 約1,700㎡
- (2) 運動広場面積 約1,100㎡ (ネットフェンス内面積)
- (3) ネットフェンス 高さ8mのフェンスで四方を囲む
- (4) 工事費 約36百万円、(国・都で32百万、市は4百万円)
- (5) 工期 平成30年11月～平成31年3月 (予定)

運動広場予定地



事前説明会



◎ (8月20日～9月30日) 柚木町1丁目運動広場のフェンス改修工事 (第一期工事) が完了しました。



改修前



改修後



「9月議会報告」

- 1、9月定例議会は6・7日、10日の一般質問、13・14日の常任委員会、19日に補正予算審査と全員協議会開催。21日、25～28日に29年度の決算審査を行い、10月3日の本会議で認定し、その他市長提出議案を可決終了しました。
- 2、「29年度決算の概要」は次の通りです。
 - (1) 「一般会計」、歳入50,152百万円、歳出48,591百万円、形式収支1,561百万円、実質収支1,531百万円です。
 - (2) 一般会計および特別会計の実質収支はいずれも黒字またはゼロとなり、実質収支の総額は前年比+868百万円です。
 - (3) 病院特別会計の収益的収支では、収入が前年比+0.4%の15,944百万円、支出が+1.1%の15,859百万円です。
 - (4) 一般会計から国保会計等特別会計への繰り出し金の総額は、前年比174百万円減の6,181百万円となり、一方、外向き発売所の開設等で売り上げが伸びたモーターボート競争会計から、5億円を一般会計に繰り出しました。
- 3、「全員協議会」には、「市民と市長の懇談会の開催」他、10項目が提出されました。主なものは下記の通りです。
 - (1) 「吉川英治記念館の寄付にかかる協議状況について」・・・市は受け入れの条件として①建物の耐震診断及び耐震工事 ②収蔵資料についての悉皆調査等について、財団側と協議を続けていますが、耐震工事及び収蔵物の悉皆調査には、1年以上の時間を要し、正式な受け入れ決定はその後となります。財団は今年度で記念館を閉館する予定です。
 - (2) 「青梅市公共施設等総合管理計画の進捗状況について」・・・廃止統合等を検討している14施設の具体的な状況調査。

- (3)「青梅市みどりと水のふれあい事業推進協会の今後について」・・・協会は平成6年に設立され、今日まで様々な事業を実施して来ましたが、今年度末をもって解散し、様々な事業は市役所の各課がそれぞれ担当する計画。因みに、「多摩川1万人清掃」は清掃リサイクル課の担当。私は設立時の理念がきちんと継承されるよう厳しく質疑しました。
- (4)「第80回奥多摩溪谷駅伝競走大会について」・・・今年度は小・中学生の部、及び支会・自治会の部が新設されます。

「一般質問」

4、今回の一般質問では、「青梅市職員の人事制度について（3回目）」及び「学校給食の現状と課題への対応策」についての2項目の質問を行いました。①市職員の人事制度に関しては女性管理職の登用問題、介護離職への対応等、②学校給食については、牛乳の飲み残り問題の他、給食費の未払い、新たな調理場建設問題等を質しました

「青梅市職員の人事制度について」

（私の質問）	（市長答弁）
<p>(1) 市職員の採用について、公募の仕方等概要を示されたい。年齢制限を27歳としている理由、および社会人経験者の採用実績と社会人経験者採用のメリット等を伺います。</p> <p>(2) 行革プランでは、女性管理職員数（課長）を平成34年には15人としているが、どのように実現するのか？女性管理職登用の典型は、女性部長を作る事と思うが見解を伺います。</p> <p>(3) 有能な女性管理職が親の介護の為、早期退職した。介護離職は厚労省も大きな問題と捉えている。職員から介護休職や離職等の申し出があった場合の対応は？厚労省が民間に薦める介護支援プランを策定してはどうか？</p> <p>(4) ノー残業デー等の実施による、時間外勤務縮減の実績と、残業が削減された要因をお答えください。</p> <p>(5) 市が発注した公共工事を巡って談合したとして逮捕者が出た。市職員の関与は無いが、極めて遺憾な事実。公正取引委員会から講師を招き行う倫理研修の内容を伺う。</p>	<p>(1) 1次試験は教養試験と事務適正検査、2次は小論文、面接他。受験年齢は将来に亘り、年齢構成が偏らないよう幅を設けています。社会人経験者は過去3年47人中19人、即戦力としてのメリットがあると捉えています。</p> <p>(2) 現在5人の女性管理職の状況を鑑みると、長期的・計画的課題です。女性の課長職が少ない中、総合的判断で部長昇任者がなかったが、高度化する行政課題に、女性の視点は重要と考えます。適材適所で検討してまいります。</p> <p>(3) 介護による退職等の申し出があった場合、所属長や人事課長が面談し、介護休暇の取得等を促し、相談に応じる。介護休暇は連続する6月の期間内で認める。「介護支援プラン」を参考として、職員の状況把握や相談支援等で介護離職防止に努めてまいります。</p> <p>(4) 29年度は前年比、時間数で29,000時間、金額で74百万円の縮減を実現しました。職員提案による午後10時の消灯時間の設定等、更なる縮減に努めます。</p> <p>(5) 公正取引委員会から講師を招き、幹部職員、契約事務及び工事積算部署の職員を対象に、入札談合等関与行為防止法・独占禁止法についての研修会を実施します。時期は10月下旬を予定しております。</p>

「学校給食の現状と課題について」

（私の質問）	（教育長答弁）
<p>(1) 昭和51年から米飯給食が開始され、平成19年度全国平均で週3回に達している。米飯給食は日本の食文化を守る点からも重要です。市の実情と課題について伺います。</p> <p>(2) 牛乳を飲まない児童・生徒が多くいると耳にします。対策を講じ改善されつつあるとも聞きますが、牛乳を飲まない児童・生徒はどの位いるのか？飲まない・残す理由何か？飲み残しの処理費用はいくらか伺います。</p> <p>(3) 給食費の未払いはどの位あるのか？就学援助の家庭等では、扶助の対象と思いますが、扶助の範囲は？給食費を払える家庭で払わない事例をどう捉えるか伺います。</p> <p>(4) 市の給食費会計は私会計です。給食運営全体の透明性・公平性を更に高める観点から出来るだけ早く公会計化することが必要と考えますが、その予定を伺います。</p> <p>(5) 児童・生徒に安心・安全な給食を提供する施設としての調理場の今後について伺います。根ヶ布、藤橋、両調理場の統合等、新調理場建設の進め方について伺います。</p>	<p>(1) 米飯給食の実施回数は、今年度国の目安を下回る週1.7回。保護者からの増加要望も多く、調理場での炊飯に加え、業者から、米飯を購入し、週2.5回まで回数を増やしました。</p> <p>(2) 牛乳がピンであった30年3月の調査では、飲まない・残す率は小学校で19.2%、中学校で35.6%。紙パックに変えた6月調査では小学校12.5%、中学校14.5%と改善しました。紙パックは業者が無料回収しますが、残乳は産業廃棄物の扱いで、処理費用は約384万円の見込みです。</p> <p>(3) 未払いは29年度決算で、現年度分が397万円余、過年度分は1,957万円余。生活保護家庭等就学が困難な家庭には公費で扶助。未納の多くは、一定以上の所得がある家庭。</p> <p>(4) 公会計化により透明性・公平性が一層図れること、法的措置が取りやすくなること、学校職員の負担が軽減されること等を認識しております。国の動向を確認の上、平成32年4月の移行を検討してまいります。</p> <p>(5) 両調理場とも老朽化が進んでいます。1日1万食より少ない調理数での対応となって来たため、根ヶ布調理場敷地での建て替えも候補に加え、建設予定地の検討を進めています。</p>